

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
下市町	下市町立下市小学校

1 基本コンセプト

学校と保護者・地域が子どもたちの課題解決のために参画・協働し、一体感をもって取り組むことにより、地域の教育力の向上を目指す。本活動を通して育まれる所属感や連帯感を基盤にした人間関係を再構築することにより、児童の自尊感情を高め、社会性や規範意識の醸成を図る。

2 取組の概要

「のびゆく下市っ子」を育てよう!



～地域と共にある学校、地域と共に歩む学校を目指し、学校・地域の活性化を図る活動～

★活動の内容

◆地域再発見活動

- ・地域と連携した郷土食「柿の葉ずし」づくり
- ・地域行事への参加(初市、下市夢まつり、町民体育祭)
- ・地域の特色を知る社会見学



6年生「柿の葉ずしづくり」

6年生は、地元下市町でお店を構える方をお迎えし、柿の葉ずしづくりを体験した。

◆地域団体や地域住民による支援活動

- ・「愛の筒」(地域住民からの浄財)運動
- ・登下校の安全見守り活動・本の読み聞かせ
- ・学校環境整備と図書室の運営補助(学校支援ボランティア)・授業の補助(家庭科、生活科、総合的な学習の時間)



学校支援ボランティア活動



グラウンドゴルフ大会(老人会と4年生)

4年生は、老人会の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、グラウンドゴルフ大会を開催した。

◆地域住民と児童の交流を推進する活動

- ・地域花いっぱい運動
- ・老人会の方々を招いてのグラウンドゴルフ大会
- ・老人会、学校支援ボランティアと児童の合同美化活動・高齢者から昔の暮らしや遊びについて学ぶ活動・感謝の集い(教育祭)

児童の感想
・グラウンドゴルフをやさしく教えてくれました。「うまいよ」とかいろいろほめてもらってうれしかったです。みなさんに教えてもらってグラウンドゴルフがもっと好きになりました。

◆学校・保護者・地域の参画・協働を推進する熟議の場の設定

- ・下市小学校コミュニティ協議会の開催
- ・「のびゆく下市っ子懇談会」の開催・教員とコーディネーターとの打合せ・学校支援ボランティア定例会



下市小学校コミュニティ協議会

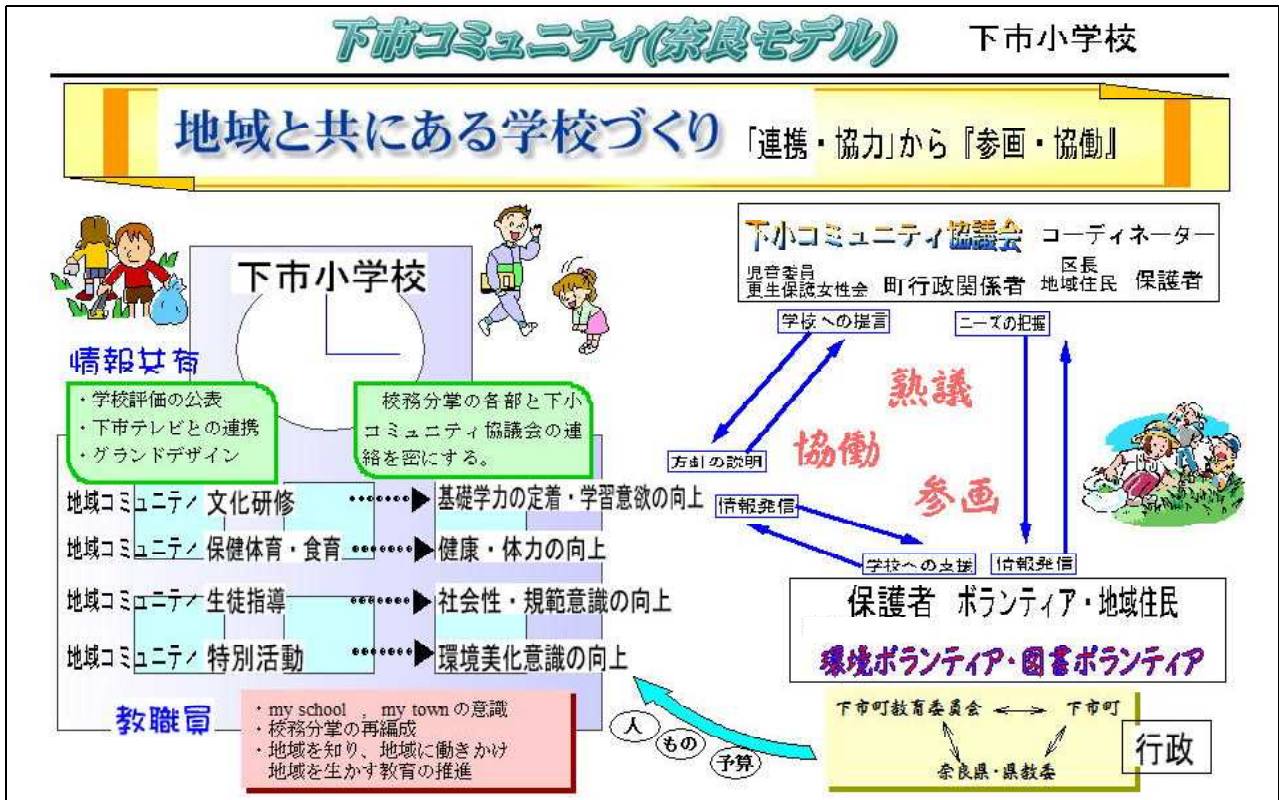


活動前の打合せ

図書ボランティアの皆さんの感想
・参加する前は、堅苦しく考えていたが、実際にやってみると気軽に活動することができた。

★実施に当たっての工夫

◆校務分掌中に地域コミュニティ部を設置



◆さまざまなツールを用いた情報発信

- ・ 町内ケーブルテレビ(下市テレビ)で学校行事や各種取組を放映
- ・ PTA広報紙(「あいのつつ」年間2回)、ボランティア募集チラシを「町報しもいち」へ折り込み、町内全戸に配布する。
- ・ 学校通信「のびゆく下市っ子」・学級通信
- ・ 教育懇談会(のびゆく下市っ子懇談会)、地域コミュニティ協議会、更生保護女性会との懇談会等で学校の取組や育てたい子ども像などを直接発信



◆「学校支援ボランティア募集チラシ」の作成と全戸配布

地域住民の本活動への理解を深め、地域全体で子どもを育てようとする気運を高めるため、地域コーディネーターと熟議して作成した募集チラシを町広報誌に折り込んで全戸に配布した。

・ 地域コーディネーターの活躍
地域と共にある学校づくりを充実させるには、地域の協力と地域コーディネーターの活躍があつてこそ実現するものである。本校の地域コーディネーターは、児童の豊かな学びの実現のために、積極的に地域と学校のパイプ役を行い、毎回新しい取組を開拓している。

・ PTA・ボランティア等が自由に使える部屋
地域の方々が学校教育に参画・協働するために、気兼ねなく自由に使える部屋が必要である。本校では、倉庫を片付けその部屋を確保した。



でボランティアの皆さんが活動する部屋